

医学部医学科

1) 医学部医学科が求める学生像

医学部医学科では、豊かな人間性と高度の医学知識に富み、広い視野と柔軟な思考力をもって社会的役割を的確に果たすことができる医師及び医学研究者の養成を目的としています。

そのような人材の養成を目指すにあたって、「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）と「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）を十分に理解し、以下に掲げる学力・行動力・意欲を有する学生を求めます。

- 医学教育を受けるに十分な素養で、入学後に修める教養教育と専門教育の基礎となる学力
- 他人を思いやるやさしさと社会性を持ちながら、高度で先端的な医療を地域社会と連携しながら実践してゆく行動力
- 生涯にわたり医師として医療・医学に貢献したいという明確な目的を持ち、何事にも前向きに取り組む、知的・人格的に成長していこうとする意欲

2) 入学志願者に求める学習の取組

- 医学を修めるために、理系科目だけでなく、英語や文系科目もしっかりと履修し、応用力を伴った総合的学力を身に付けておく必要があります。
- 将来、様々な医療職と連携し、多様なニーズに対応できる医療を実践するためには、コミュニケーション能力と協調性を身に付けておく必要があります。
- 医学・医療を取り巻く社会問題や地域の動向に関心を持ち、自ら積極的に学ぶ姿勢を身に付けておく必要があります。

3) 入学者選抜の基本方針

医学部医学科では学力・行動力・意欲を有する学生を選抜するために、多面的・総合的な評価方法により別表のとおり入学者を選考します。

【別表1】入学者選抜方法と重点評価項目

選抜区分	選抜方法	目的と概要	重点評価項目		
			学力	行動力	意欲
一般選抜 (前期)	共通テスト	高等学校卒業レベルの学習の成果を幅広く応用・展開し、様々な課題を多面的に把握し解決するための資質・能力を評価するという観点から、左記の方法により総合評価して選抜します。	○		
	教科・科目に係る個別テスト				
	個人面接				
総合型選抜Ⅱ	共通テスト	本学科のカリキュラムに基づく学習を主体的に進めていくための資質・能力、適性、意欲・関心等を評価する観点から、左記の方法により総合評価して選抜します。		○	○
	個人面接				
	総合論述				
学士編入学 (第2年次)	個人面接	修業年限4年以上の大学卒業レベルの学習の達成度及び様々な課題を多面的に把握し解決するための資質・能力を評価するという観点から、左記の方法により総合評価して選抜します。	○	○	
	TOEFL				
	教科・科目に係る個別テスト (基礎自然科学・数学)				

注) 一般選抜(前期)及び総合型選抜Ⅱの個人面接では、調査書及び志望理由書を参考資料とします。

注) 学士編入学(第2年次)の面接では、志望理由書を参考資料とします。

【別表2】選抜方法の内容と評価要素

選抜方法	選抜区分	選抜方法の内容と評価要素
個人面接	一般・前期	事前に提出される「志望理由書」を資料に用いて、志望理由、医療に対する関心、卒業後の進路等について、質疑応答を行うことにより、「行動力」、「意欲」を評価します。
	総合Ⅱ	
	学士編入学	
総合論述	総合Ⅱ	与えられた資料の内容を的確に捉え、課題を見出し、自身の考えの思考過程及び最終的結論に関して論述させます。自身の考えを論理的に構築・表現する力が求められます。資料の理解・解析・分析を通じて、課題解決に必要な論理的思考力と問題発見能力の他、医学分野における資質を以下の観点に基づき総合的・多角的に評価します。 1. 資料理解力：資料の本質を捉え、的確に解析する能力。 2. 問題発見能力：与えられた情報や状況から課題を見出し、それを適切に定義する能力。 3. 論理的思考力：課題に対する考えを論理的に構成する能力。 4. 分析力：資料や課題の要点を整理し、深く考察する能力。 5. 表現力：明確かつ説得力のある形で自身の考えを示す能力。
TOEFL	学士編入学	英語について、修業年限4年以上の大学卒業レベルの「学力」を評価します。
教科・科目に係る個別テスト (基礎自然科学・数学)	学士編入学	物理・化学・生物・数学の筆記試験を通して、修業年限4年以上の大学卒業レベルの「学力」を評価します。